

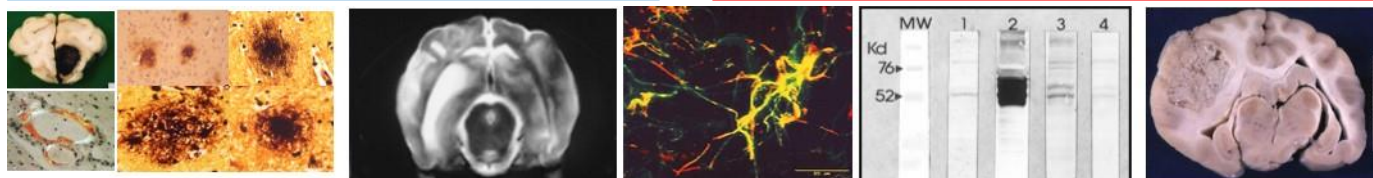
獣医病理学研究室における教育・研究

比較神経病理学に関するテーマ

動物種による脳の加齢性変化の相違
犬の特発性炎症性脳疾患の病態解明
犬の神経変性疾患の病態
犬猫の脳腫瘍の病態解明

対応するヒトの神経疾患

アルツハイマー病、パーキンソン病
自己免疫性脳炎
筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
悪性膠細胞腫および髄膜腫瘍



特定の動物疾病に関するテーマ

- リンパ腫および組織球性腫瘍
イヌ・ネコの腸症関連T細胞性リンパ腫の病理発生解明
各種動物のリンパ腫分類と病態の解明
- 皮膚腫瘍
各種動物のパピローマウイルス関連皮膚腫瘍の病理発生解明
- その他の研究対象とする動物疾患
イヌ・ネコの消化管上皮性腫瘍（胃癌、大腸癌など）の病理発生解明
各種動物の乳腺腫瘍の多様性の解明



多様な動物疾病のCase Study（診断病理学）＝病理学の基盤

獣医病理学では非常に幅広い動物種の疾患を研究対象としています。このため常にヒトの疾病を念頭におき、かつ動物種の特異性を考慮しながら主に形態学的手法を用いて様々な種類の病気と向きあいます。

多様な動物疾患の病理発生に関する研究をつうじて、より多角的な観点より病気をとらえ、得られた科学的情報を世界に広く発信して、獣医学領域のみならず医学分野にも貢献したいと考えています。